

部活動紹介



男子バスケットボール部

五年一組 渋谷 碧

私たち男子バスケットボール部は前期生二十一名、後期生五名で日々切磋琢磨しながら活動しています。

私たちの目標は一回でも多く試合に勝つことです。この目標は今年引退した十七期生の先輩方が私たちに託してくれた目標でした。一回でも多く勝つために日々の練習ではコミュニケーションをとりアドバイスなどをしたり様々な新しいメニューなどを取り入れたり実戦形式の練習を増やしたりしました。また、試合後にはミーティングを行い試合でのチームや個人の良い点や悪い点、改善策を挙げて次の試合や日々の練習で改善を図りました。しかし、後期生は人数などの問題で県総体以降の試合に出れず目標達成とはなりません。また、前期生は目標は達成したものの思うような結果を残せませんでした。原因としては部活の取り組み方や意識の低さだと思えます。部活に来なかったり、来ても一生懸命取り組んでいないことが少なからずありました。部活動の取り組み方や意識などの改善を図り、良い雰囲気での部活にしたいです。

これからも支えてくださる全ての方々への感謝を胸に、練習できる一日を大切に、チーム一丸になって励んでいきたいです。

女子バスケットボール部

五年一組 吉田 心夢

私たち女子バスケットボール部は、前期生十二名、後期生八名で学年間の壁もなく部員全員で一生懸命に練習に取り組んでいます。

活動時間が限られているため、部活動中は全力で取り組み、お互い声を掛け合いながら質の高い練習を心がけています。また、練習中に感じた事や、失敗してしまったプレーについてすぐに話し、意見を出し合うようにしています。大会後には、試合の映像を確認し、GOOD、BAD、NEXTを見つけ次に繋げていきます。一人一人の技術向上やチームとして成長できるように一日一日を大切に練習に取り組んでいきたいと思っています。

「人に応援されるチーム」を女子バスケットボール部の目標にしてコート内外での礼儀や、試合や練習で声を出して、一生懸命最後まで取り組む雰囲気作りを心掛けています。

これからも、忙しい中、送り迎えや、遠い所まで応援に来てくださる保護者の方々や、一生懸命指導してくださる顧問の先生方への感謝を胸に、仲間達とプレーできることを誇りに思い、チーム一丸となって練習に励んでいきたいと思っています。

そして笑顔を忘れず、バスケットボールを全力で楽しみ、成長していきたいです。

サッカー部

五年二組 浮須 汰郎

私達サッカー部は前期生十一名、後期生十八名の二十九名で活動しています。普段、グラウンドが使える日はスクエアパス、ポゼッション、そしてゲームなど実践的な練習をし、冬などのグラウンドが使えない日は、ランニング、体幹トレーニング、筋トレ、ラダーなどで体づくりをするなど、個人の技術やチームの連携の向上を目指し「自律」という目標を掲げ日々練習に取り組んでいます。

今年度は前期生は下越大会と村上市サッカーフェスティバル、後期生は選手権とNリーグなど様々な経験を積むことが出来ました。前期生は県大会ベスト8に進出することができ、後期生も前期生も成長が感じられ、来年度にもつながる良い一年になったと思います。

来年度は、サッカー部の良いところである先輩と後輩との間に壁がなく、明るく楽しい部活であることを活かしつつ、少しでも多くの試合に勝てるように、日々努力していきたいと思っています。

テニス部について

五年一組 鈴木 柊磨

私たちテニス部は前期生五人、後期生八人の総勢十三人で活動してきました。

前期生は、ボールの打ち方や試合のやり方、点数の数え方をメインに行ってきました。自分はなにができないのかを考え、日々の練習をしていました。

後期生は、試合に勝つという目標で取り組んできました。練習試合の回数を増やし、試合をする体力を付けたり、勝負球を打てるように何度も繰り返し練習しました。本番のプレッシャーに負けずに打つことができるようになったことで、試合に勝つことができました。

全体では体力の向上、体幹トレーニングに取り組みました。辛い時は声を掛けながら最後までやることができました。

来年度はこれまでの練習に加え、互いに競い合いながら練習していきたいです。そして、学年関係なくコミュニケーションをたくさん取り、充実した練習をしていきたいと思います。

陸上部

五年一組 成田 賢士郎

私達陸上部は新しい仲間を迎え、部員それぞれが自分の目標に向かって練習に取り組んできました。

陸上部の特徴は短い時間の中で集中して練習を行うことです。時間は短いですが内容は濃いため休憩とメリハリをつけて練習をしています。陸上部の良いところは学年の垣根を超えた仲の良さです。その仲の良さが活動中にも見られるため、良い雰囲気です。活動することができています。陸上競技は目標を達成するためには苦しい練習が必要ですが、目標を達成した時の喜びは計り知れません。活動を通して高め合い、励まし合うことで厳しい練習を乗り越えることができます。

来年度は今までの自分を超えて部員同士で高め合い、楽しみながら練習に取り組んでいきたいと思っています。

ダンス部について

五年一組 野澤 蘭

私達ダンス部は、現在前期生十五人後期生五人計二十人で活動しています。今年は様々なことに挑戦した一年になりました。

今年とは異なり、沢山のイベントに出演しました。ここ数年、コロナ禍のため、イベントが中止になっていたため、久々に多くの人の前でダンスを披露できるようになり、改めてダンスが人に与える影響やダンスのすばらしさを実感することができました。

前期生は、基礎となるウォーキングや、バレエッスンなどに使われているバレエやチャダンスなど、様々なジャンルの動きに挑戦しました。その中でも『Me!a!』という曲を使った作品では、元々後期生が踊っていたとしてもパワフルな振り付けに加え、自分達でアレンジした振り付けも多々あり、全体的に難易度の高いダンスでしたが、見事自分達のものにすることができました。

後期生は、表現力を高めたり、振り付けの解釈を一致させたりと、よりよい作品を作ること意識し、取り組んだ一年となりました。少人数ではありますが、ステージや空間を広く使って踊り、大きな作品に見えるよう工夫しました。

来年も自分たちの目標を達成させるために、こつこつがんばりたいです。

バレエボール部

五年二組 中嶋 彩瑛

私たちバレエボール部は、前期生十四人、後期生六人で活動しています。

今年度は、新型コロナウイルスやインフルエンザの流行により思い通りに活動できないことが沢山ありました。しかし、顧問の先生や外部コーチの熱心なご指導のもと、前期後期共に体力づくりや技術向上のため、日々練習に励みました。

今後も、限られた時間の中で一回の練習を大切にしていきたいと思います。また、日々、ご指導してくださる先生方、支えてくださる保護者の方々への感謝の気持ちを忘れず、目標に向かって頑張っていきたいと思っています。

卓球部

五年二組 野沢 樹

今年度の卓球部は、打ち合いや練習試合をたくさんし、球に触れ、試合に近い形で練習に励みました。今年度は、コロナの影響で昨年まであまりなかった前期生と後期生との交流が増えて、一緒に練習することができました。試合では、前期生が賞をとっているのを目にする機会が増え、技術が向上していると感じました。

しかし、練習の自由度が高い故に来る人が少ない日があり、オンとオフの切り換えがあまりできませんでした。

来年度は、その切り換えをしっかりと毎時間来なくなるような雰囲気作りをしていきたいです。そして、顧問の先生方や保護者の方々への感謝、部活の仲間への有り難さを忘れず、懸命に部活に取り組んでいけるよう精進していきます。

バドミントン部

五年一組 山田 麟太郎

私たちバドミントン部は基本をおろそかにしないよう、基本打ち、フットワークなどをはじめとして、実践的な練習を行っています。他の学校よりも部活動時間が少ない私たちですが、中学生は高校生から技術を学び、高校生は指導することにより、基礎を見直すことができるといった利点を生かしています。しかし、部員の数が多く、限られたコートの中で全員が充実した練習を行うことが難しくなっています。そのため、体育館で行う技術的な練習と、それ以外の場所で行う体力的な練習をグループに分かれて行うといった効率的なメニューを心がけていきたいです。

勉強との両立は容易ではありませんが、一つでも多く勝ち進むためにも前期生、後期生ともに頑張っています。これからも仲間や後輩と共に部活動に励んでいきたいと思っています。

華道部

五年二組 高野 真帆

私たち華道部は、部員十九人で月に一度、外部の講師である木村先生にご指導をいただき、季節の花をいけています。月に一度の活動だからこそ毎回の活動を大切に楽しく取り組んでいます。

華道部は今年度、六碧祭と新潟県高等学校総合文化祭の高校いけばな展で作品を展示しました。今年度の六碧祭は三年ぶりに通常通りの開催となり、多くの方が来校されました。華道部は書道教室を利用し展示をしました。皆で案を出し展示会場を作り、部員一人一人が思い思いの作品を制作できました。大勢の方に見てもらおう機会があまりない中で一人一人の作品を展示することは、初めてのことで緊張しながら制作するのは、いつもの部活動では味わえないので、部員にとって良い経験になったと思います。さらに今年度は、クリスマスリースを作るなど、部活動内でも新しいことに挑戦できました。これからも部員全員で仲良く、新しいことに挑戦しながら取り組んでいきたいです。

箏曲部の一年間の活動を振り返って

五年二組 井浦 菜瑠

今年は新型コロナウイルス対策も緩和され、比較的自由に活動することができるようになりました。しかし、それに伴い学校行事の練習や各学年の宿泊研修がコロナ禍前通りに行われるようになり、毎日全員が揃って練習を行うことが難しくなりました。

そんな中でも部員同士が声をかけ合ったり、休日を利用したりして練習量を増やせるように努めました。私達は少人数ではありますがその中でも他校にはない粒の揃った音色と情緒的な演奏を武器とできる様、話し合いと練習を重ねました。

後期生の大会本番では琴柱が倒れる、琴爪が取れるなどのアクシデントが起こってしまい、連続での受賞を狙っていた優秀賞を逃してしまいました。沢山練習していた分とても悔しく、また記録を築いてきてくださった先輩方には申し訳ない気持ちが大きかったです。アクシデントが起きても最後まで弾ききることができて良かったです。

今年一年は後期生は、優秀賞を逃してしまったり、前期生も予定していた発表会への参加ができなくなったりと悔しい事も多い一年でしたが、学びも多い一年でした。更に磨きのかかった演奏ができるようこれからも努力していきます。

マンガ部について

四年一組 時田 みさと

今年度、マンガ部の六年生以外の部員には、初めて経験する行事がたくさんありました。その中でも特に思い出深いものは六碧祭です。四年ぶりに復活した作品展示に向けて、夏休み前から時間をかけてイラストやマンガを作りました。六碧祭当日、予想を大きく上回る来客があり、とても驚きましたが、『うまいね』『このイラストって写真とって面白いんですか』『マンガ描けるなんてすごいな』などと誉めていただき、頑張って良かったと思いました。

五年生が所属していない部であるため、四年生の私が部長となりましたが、経験のない行事のマンガ部としての準備と自分の作品作りを同時に進めることはとても大変でした。自分自身に余裕が持てなかったことで、後輩へうまく指示が出せない場面も多く、反省点や改善すべき点もありますが、来年度はこの一年間の経験を生かし、部員全員で楽しく充実した活動にしていきたいと思っています。

囲碁将棋部

五年一組 兼田 学和

私達囲碁将棋部は、前期生七名後期生七名で活動しています。昨年度とは異なり、新型コロナウイルスの収まりから様々な活動が緩和されるようになりました。今年度の文化祭では対局場を設ける出し物をしました。四年ぶりの開催ということもあり、経験が無く不安もありましたが部員どうしでアイデアを出しあったり準備などを協力して行いました。そして当日は多くの方々に足を運んでいただき対局を楽しんでもらうことができました。また、普段の活動では何が最善手か自分達の答えを出しあい楽しく活動していました。しかし、先生に注意されることも多く反省点が多い年でもありました。

来年度は今年の反省点を改善し、部員同志で協力していきたいです。また、一人一人が互いを高めあえる存在になりたいです。

これからも先生や部員への感謝を忘れずに、部活動に取り組んでいきます。

合唱部について

五年二組 矢部 結子

今年度は合唱部にとって、日頃の練習の成果を発表する機会に非常に恵まれた年でした。校内では例年通り新入生への部活動紹介をはじめ、秋は文化祭、冬は生徒玄関でクリスマスキャロルを行うことができました。また、校外では毎年恒例となっている市民合唱のつどいや高文連総合文化祭への参加だけではなく、岩崎宏美・良美さんのチャリティーコンサートや県PTA研究大会にもお声がけいただきました。こんなに沢山の発表の機会をいただけることは滅多にないので、合唱部としても印象に残る一年になりました。

合唱は、毎日部活動で練習を積み重ねることにより良いものになると思います。それだけでなく、たくさん発表をすることでもっと成長していくのではないのでしょうか。観客のいる場所で歌ってみることで得る学びはとて大きく、それは普段の練習からは絶対に得られないものです。この一年の活動で得た自信や達成感などの経験を忘れずに次に繋げていきたいです。このような充実した発表の機会を沢山用意し協力してくれた方々への感謝の気持ちも忘れずに、部員全員でより良い合唱を目指して来年度も頑張ります。